

平成27年度八王子市立小学校使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

種目 保健（1/1 枚目）

調査の観点	発行者名 東京書籍	大日本図書	文教社	光文書院	学研教育みらい
<p>1 内容                      (1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。                      (2)児童の発達段階に対する配慮されているか。                      (3)各学年にわたる内容の取扱いに対して配慮しているか。                      (4)児童の意欲、関心を引き出す配慮があるか。                      (5)児童の習熟の程度に応じた発展的な学習内容の取扱いが適切であるか。</p>	<p>(1)どのページにも、学習課題が掲載されており、学習する内容が明確である。また、学習の終わりに、「学習を振り返ろう」のページが用意されており、学習内容をまとめる工夫がされている。                      (2)中学年の段階では、自分の生活を振り返ったり、実験をしたりといった、体験をもとに学習が展開されている。高学年では、自分で考えたり、話し合ったりすることで学習が展開されており、学年の発達段階に応じた学習活動が用意されている。                      (3)4年生の「よりよく育つための生活」では、下学年の学習内容を想起させる欄があり、既習事項を活用させる工夫がされている。また、他教科との関連も明記されている。                      (4)課題を提示する方法が工夫されており、児童が自ら疑問をもって、意欲的に学習できる。                      (5)どの単元にも、最後に見開きページで発展的な内容について取り上げている。</p>	<p>(1)目標及び内容が押さえられており、児童の身近な事例を導入で扱っている。                      (2)絵やチェック欄が設けられ、自分の生活を振り返ることができるように工夫されている。                      (3)学習した内容のまとめとして、「活用」という項目が設けられている。                      (4)各章の導入に学習をナビゲートするゲームの提示があり、興味・関心を引き出す工夫をしている。                      (5)「もっと知りたい」や「はってん」、下段枠外「ミニ知識」など、児童の実態に応じて学習を深められる内容が取り上げられている。</p>	<p>(1)目標及び内容を押さえられており、児童が自分で考え、記入できるようになっている。                      (2)考える一解決するの仕組みが児童にとっては理解しやすい構造となっており、写真やイラスト、グラフを活用して視覚的に問題を把握しやすい配慮がなされている。                      (3)「やってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」「まとめ」の4項目から構成されており、各学年の段階に即した内容の取扱いとなっている。                      (4)イラストから探し出す活動や、具体的な台詞を吹き出す配慮がある。                      (5)発展の項目が分かりやすく表示され、児童の習熟度に対応している。</p>	<p>(1)目標及び内容について配慮され、要点が整理されているとともに、具体的な説明が多く、内容を押さえられている。                      (2)全体的に絵や資料の分量が多く、見やすい構成になっているとともに、児童が視覚的に理解しやすくなっている。                      (3)学習の最後にまとめとして、「あてはめよう」「見つけよう」「伝えよう」の3つの活用パターンがあり、生活に活かすための記述ができる工夫がされている。                      (4)挿絵によって考えることができるため、児童の意欲・関心を引き出す工夫がされている。                      (5)「はってん」や他教科との関連、知っておくためになる内容のコーナーがあり、児童の実態に応じて学習活動に広がりをもたせることができるよう工夫されている。</p>	<p>(1)「ここで学ぶこと」と目標が提示しており、学習内容も1時間で見開き1枚とまとまっているので、児童は見直しをもって学習することができる。                      (2)中学年は実験や状況の写真が多く「やってみよう」と投げかけている。高学年はグラフや説明から「考えてみよう」と思考を促しており、児童の発達段階に配慮している。                      (3)他学年との関連に配慮している。体ほぐしと心の健康の関連や個人差を肯定的に見るなどの配慮がある。                      (4)写真やイラストなどが多く、児童の身近な問題を取り上げている。また、「おうちで」「ちいぎで」と日常化を図る投げかけもあり、児童の生活に振り返りやすい工夫もある。                      (5)「活用」があり、「もっと」がありと児童の探究心をかき立て、発展的な学習につながる工夫がある。</p>
<p>2 構成及び分量                      (1)内容は全体として系統的・発展的に構成されているか。                      (2)各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮しているか。                      (3)教科の特質に即した主要教材において基礎的事項をおさえ、補充教材並びに発展教材等の取扱いに対して配慮しているか。</p>	<p>(1)考える活動、振り返る活動、活用して深める活動があり、知識の定着を図ることのできる構成になっている。発展的な内容も充実しており、ワークシート形式で学習の定着を図ることができる。                      (2)見開きページでまとめられており、学習の分量も適切である。写真、イラスト、文章がバランスよく構成されている。                      (3)解説やまめちしきなど、補充的な要素が掲載されている。発展的な内容については特設ページが設けられており、基礎的事項との関連付けが分かる工夫がされている。</p>	<p>(1)発展的な内容が最後にまとめられており、見やすい工夫がされている。                      (2)イラストや文章の分量も適切に示されており、発達段階を押さえることができる。                      (3)単元の最後に発展的な内容や、専門家からの話のページがあり、基礎的な事項と関連付けて学習することができる。</p>	<p>(1)単元の初めの動機づけでは、各学年に応じた資料提示があり、意欲的に学習に取り組める。また、実践化につながるような資料や活動が入っている。                      (2)基礎・基本に内容が精選されている。                      (3)分かりやすい資料と専門的な内容の資料が入っているため、基礎的な内容が身に付くとともに、発展的に学習ができる工夫がされている。</p>	<p>(1)内容が系統立っており、発展的な学習においても細かい説明がある。                      (2)分量は多めに構成されているが、見開きページで見やすくまとめられている。                      (3)基礎的事項を理解しやすいよう、図やイラストにより見やすくなっており、発展的な学習においても、生活場面と関連して考えられる工夫がされている。</p>	<p>(1)課題提示→活動→まとめ→活用の構成がまとまっている。                      (2)発展的な学習に関する内容が見開きページで用意されており、発達段階を十分に配慮している。                      (3)発展的な内容について特設のページが設けられており、基礎的事項との関連等が書いてある。</p>
<p>3 表記及び表現                      (1)児童にとって読みやすい表現であるか。                      (2)印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすいか。</p>	<p>(1)漢字が多く、ルビも多くふられている。太字が少ない。用語解説が表記されている。                      (2)イラストや吹き出しが各ページに混ぜられている。「育ちゆく体とわたし」では、写真で水着姿の体を表記している。「体の変化」ではイラストで裸を表記している。</p>	<p>(1)言葉を簡単にして表記しているため、児童が理解しやすい。太字がない。用語解説が表記されている。                      (2)イラストが分かりやすい。「育ちゆく体とわたし」では大人の服を着たイラストで表記している。「体の変化」ではイラストで裸を表記している。</p>	<p>(1)ルビが少ない。キーワードは黄色枠と太字で強調されている。                      (2)イラストが大きく、イラストと文字を対応させて理解しやすい。「育ちゆく体とわたし」では体育着のイラストで表記している。「体の変化」ではイラストで裸を表記している。</p>	<p>(1)漢字にルビをふってあるものと、ふっていないものがある。キーワードは太字で、できるだけ短い言葉で表記されており、児童の印象に残りやすい。                      (2)児童が親しみやすいイラストである。円グラフなどの統計資料が多く用いられている。「育ちゆく体とわたし」では、写真で水着姿の体を表記している。「体の変化」ではイラストで裸を表記している。</p>	<p>(1)漢字が多く、ルビも多い。太字があまりない。                      (2)写真が多用されているため、視覚的に分かりやすい。「育ちゆく体とわたし」では体育着の写真で表記している。「体の変化」ではイラストで裸のシルエットを表記している。</p>
<p>4 使用上の便宜                      (1)全体の構成が見通せるように配慮しているか。                      (2)課題発見、課題解決に向けた学習が効果的に進められるように配慮しているか。                      (3)印刷・装丁に対して配慮しているか。                      (4)地域性に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)見出しに学習の課題が明記されており、児童が本時で学ぶ内容を視覚的に確認できるように配慮されている。                      (2)自分の生活を振り返っての課題発見があり、「話し合ってみよう」「考えてみよう」など、主体的に課題を解決していく手だてがある。                      (3)どの単元にも挿絵や写真が適切に配置され、印刷の濃さやレイアウト、装丁等も適切である。ユニバーサルデザイン書体を使用。植物油インキを使用。あじろ綴じ                      (4)横浜市保健所のHPが紹介されている。サイズ AB版</p>	<p>(1)最初に学習の進め方の見通しが載っていて、全体を見通すことができる。                      (2)「話し合ってみよう」によって、児童相互で意見を交換し、自分の考えを深めることができる。また、様々な立場からの意見を知ることができるため、多面的に課題を捉えることができる。                      (3)どの単元にも挿絵や写真が適切に配置され、印刷の濃さやレイアウト、装丁等も適切である。NPO法人CUDO認定製品である。植物油インキを使用。抗菌処理あじろ綴じ                      (4)特定の地域が分かるような資料は、掲載されていない。サイズ B5版</p>	<p>(1)見出しに学習の課題が明記されており、児童が本時で学ぶ内容を視覚的に確認できるように配慮されている。                      (2)課題発見の段階で各学年に応じた作業の資料を提示し、児童が興味・関心をもって導入が行えるような工夫がある。また、自分の生活を振り返った上で学習課題について考え、調べることができる。                      (3)どの単元にもイラストや写真が適切に配置され、印刷の濃さやレイアウト、装丁等も適切である。植物油インキを使用。                      (4)特定の地域が分かるような資料は、掲載されていない。サイズ A4版</p>	<p>(1)単元の前段にイラストつきの説明があり、学習の見直しをもつことができる。                      (2)教科書にいろいろなマークが使われていて課題発見、課題解決を進めやすい構成になっている。考えたことを書いたり、自分の生活をチェックしたりする活動も入っている。                      (3)どの単元にもイラストや写真が適切に配置され、印刷の濃さやレイアウト、装丁等も適切である。植物油インキを使用。平綴じ                      (4)関東圏中心の資料が掲載されている。サイズ B5版</p>	<p>(1)どの単元も、課題を明確にして学習が進められる。                      (2)全体の構成として、それぞれのページに「活用」があり、課題解決に向けた学習の補助的な役割を果たしている。                      (3)どの単元にも挿絵や写真が適切に配置され、印刷の濃さやレイアウト、装丁等も適切である。ユニバーサルフォントを使用。植物油インキを使用。あじろ綴じ                      (4)特定の地域が分かるような資料は、掲載されていない。サイズ A4版</p>
<p>5 総合所見                      (1)教科の指導及び児童の学習活動の視点から総合的にみてどうか。                      (2)現在八王子市で使用している教科用図書と比べてどうか。</p>	<p>(1)児童に考えさせる場面がとて多く、主体的に学習に取り組むことができる。また、他学年や各教科の関連も明記されているので系統的な学習が可能である。                      (2)全学年を通して、教科書に書き込める形となっており、他のワークシートがなくても学習を進められる。</p>	<p>(1)学習のまとめが分かりやすく児童が主体的に取り組むことができる。また、保健領域にとどまらず、「しりょう」の中で体ほぐしの運動に触れるなど、指導に幅が広がる工夫が見られる。                      (2)小単元の題名が児童にも分かりやすい表現である。(例:おとなの体のじゅんび)</p>	<p>(1)各学年に応じた作業や資料提示があり、日常生活に即した学習が可能である。また、児童の実態に応じて、発展的な学習に応じた資料もあり、工夫が見られる。                      (2)イラストや図に比べて、説明する文章が多く、多少学習量が多い。</p>	<p>(1)問題提起させる場面が多く、課題解決の学習ができる。                      児童の日常生活にそのまま活用できる、まとめを書く欄がある。                      (2)資料と文章のバランスが工夫されている。</p>	<p>(1)主体的に学習に取り組むことができる構成になっているとともに、補助資料や実験などの学習内容が発達段階に配慮されている。また、活用や補助資料が充実している。                      (2)A4サイズになり、イラストや写真等が大きくなった。</p>